

## 令和6年度(2024年度) てがたん予定表

毎月第二土曜日 10:00~12:00 (要申込・雨天中止) \*

参加費：大人300円・中学生以下100円

観察場所：鳥の博物館周辺

年	日付	テーマ	内容
2024	4月13日	てがたん20周年	「てがたん」は今年で20周年を迎えました。この20年間の観察記録や、てがたんコースの自然の変化を振り返りつつ、我孫子の自然の「いま」を見つめます。
	5月11日	ツバメの子育て	3月になるとツバメがやってきて畑や水田で巣材を集め、家屋の軒先に巣をかけます。我孫子はツバメの子育てに必要な環境が整っていてツバメが暮らしやすい街のようです。そんな我孫子のツバメを観察してみましょう。
	6月8日	植物のなかま探し	植物の咲かせる花は、色も形もさまざまで、近い仲間でも見た目が大きく異なるものがあります。身近に咲いている野の花を観察して、同じなかまを一緒に探しましょう。
	7月13日	生きるための毒	外敵から身を守るため、獲物を捕らえるためなど、毒を持つ生きものにはそれぞれの理由があります。身近な生き物たちの持つ毒と、その生きかたに迫ります。
	8月10日	いろいろな虫たちの“幼虫時代”	図鑑に載っている虫たちは成虫の姿であることが多いですが、それぞれの幼虫はどのような姿をしているのでしょうか？虫たちはどのように成長していくのか、種類ごとに比べてみましょう。
	9月14日	小さなアリに注目！	てがたんコースにも、アリはたくさん生息しています。どんなアリが、どんな場所にいるのか、探して観察してみましょう。
	10月12日	タケってどんな植物？	私たちの身近な植物であるタケの暮らしや形について、観察や工作をしながら調べてみましょう。
	11月2・3日	てがたん in JBF	我孫子の自然観察の魅力は、野鳥だけにとどまりません。鳥の好きなあなただに、我孫子の自然の楽しみ方をご紹介します。
	11月9日	赤い実、食べた？	植物は秋になると様々な大きさや色の実をつけ、鳥たちはその実を食べにやってきます。鳥の食べる実の色にはどんな秘密があるのか探してみましょう。
	12月14日	飛ぶんだね 不思議だね 種の観察	植物は一度根を張った場所から動くことができませんが、どうやって住む場所を広げるのでしょうか？種に隠されたさまざまな工夫を観察しましょう。
2025	1月11日	鳥インフルエンザから鳥たちを守ろう	毎冬、さまざまな鳥が犠牲になっている鳥インフルエンザ。鳥インフルエンザから鳥たちや私たちの生活を守るために何をしたらいいのか、解説します。
	2月8日	くらべてみよう鳥の体 くちばし編	鳥のくちばしは長いものや短いもの、曲がっているものなど様々な形をしています。食べているものや暮らしによってどんな違いがあるのでしょうか。くちばしに注目して観察してみましょう。
	3月8日	身近な猛禽 トビとミサゴ	トビとミサゴは手賀沼で見られる身近な猛禽類ですが、どんな暮らしをしているのでしょうか。お馴染みなのにミステリアスな猛禽にスポットライトを当ててみましょう。